

## 年表で見る 生活クラブの50年

	できごと	社会のできごと
1965年	●生活クラブ結成 ●牛乳の共同購入始まる	60～70 安保闘争
1968年	●班別予約共同購入始まる ●生活クラブ生協創立総会	68 カネミ油症事件
1972年	●消費材開発始まる	70頃～ 米生産調整（減反政策）
1977年	●代理人運動スタート	73 石油パニック
1979年	●自前の牛乳工場完成	75 「複合汚染」ベストセラー
1981年	●町田学校給食直接請求1万7,000人署名	76 ロッキード事件
1983年	●野菜の共同購入始まる	81 食糧管理法改正
1984年	●個人班制度発足	84 米不足 緊急輸入
1985年	●都議会上初の代理人	86 チェルノブイリ原発事故 男女雇用機会均等法施行
1986年	●エコロ共済制度始まる	パブル景気
1987年	●新システムスタート（OCR導入）	87 国鉄民営化
1988年	●第二次総要求組織化運動 ●バスチャライズド牛乳の取組み始まる	89 元号が平成に
1989年	●食品安全条例直接請求署名運動 ●ライト・ライブリフッド賞受賞	ベルリンの壁崩壊
1991年	●東京機関紙「ジョイ・エス」創刊 ●五日市協同村開村	消費税開始
1992年	●アピリティクラブたすけあい設立、事業開始 ●社会福祉法人設立をテーマに臨時総代会	91 湾岸戦争 ソ連崩壊
1993年	●23区南生活クラブ生協創立総会	93 平成の米騒動
1994年	●北東京生活クラブ生協、多摩きた生活クラブ生協、多摩南生活クラブ生協創立総会 ●びん回収「グリーンシステム」開始	95 阪神淡路大震災 地下鉄サリン事件
1998年	●生協創立30周年「つなぐ手で未来に返そう元気な地球（いのち）」 ●遺伝子組み換え・環境ホルモンWストップの活動スタート	96 容器包装リサイクル法制定 遺伝子組み換え食品輸入認可
1999年	●共同購入システム改革（申込みが月2回化）	97 京都議定書（COP3）締結
2000年	●新たな組織運営スタート（支部からまちへ、班から戸へ）	98 NPO法成立、施行
2001年	●生活クラブ運動グループ「21世紀型地域機能づくり構想」策定 ●容器包装リサイクル法改正請願署名を国会へ提出	00 介護保険法施行 雪印中毒事件
2004年	●東京ではじめてのデポーが開店（八王子みなみ・国分寺）	03 個人情報保護法成立
2007年	●新共同購入システム開始 ●パスレル保谷オープン ●子育て事業開始	05 改正介護保険法
2008年	●生協創立40周年「奪わない食・共に生きる地域（まち）」	06 容器包装リサイクル法改正
2009年	●生活クラブ館（せたがや）開設	07 ミートホープ事件
2011年	●生活クラブ館 徳丸開設	08 中国産冷凍餃子事件 世界金融危機でデフレ
2012年	●生活クラブ風車「夢風」運転開始 ●コミュニティづくりはじまる	11 東日本大震災
2015年	●週次注文システム開始	東京電力福島第一原発事故
2016年	●生活クラブ農園・あきる野開始 ●電気の共同購入スタート	16 安保法施行
2018年	●生協創立50周年「食をかこむ和～つながるまち・ささえあう暮らし～」 ●生活クラブ館まちだ開設 ●東京で10店舗目となるデポーすぎなみ永福開店	18 種子法廃止 TPP11協定

## 未来に紡ぐ「私」のストーリー

土谷雅美（生活クラブ・東京 前理事長）

生活クラブ・東京設立50周年にあたり、30周年・40周年に続き、記念まんがの制作をすすめました。作成は東京広報政策委員会が担い、委員や理事などリーダーのみなさんの活動の支えとなり、また、新規加入のひとにも読んでもらえるものとして検討しました。取材をする中で、さまざまな活動の立ち上げにかかわった方からのお話はとても貴重で、それこそが勉強の連続でした。

まんがは「しるクン」でおなじみのおぐらみどりさんにお願いしました。おぐらさんをはじめ取材させていただいた方、かわっていただいたすべての方に感謝いたします。

50年の歴史は語りつくせるものではありませんし、それぞれの組合員の中にもストーリーがあります。これからの未来に向けて、「私」のストーリーを紡いでいき、生活クラブの歴史を重ねていきましょう。

発行：生活クラブ生活協同組合・東京

作成：50周年記念まんが制作チーム（2018年度東京広報政策委員会）

鶴島佳子・土屋順子（23区南）、佐和さつき・古川和美（北東京）、稲葉亨江・磯嶋志保子（多摩きた）、高塩徳美・橋本周子（多摩南）

座長：土谷雅美 担当事務局：牛島敏行・鈴木祐久（情報企画課）

まんが：おぐらみどり

発行：2019年12月